

第二次上田市図書館基本構想【概要版】

○ 構想の策定に当たって

- ・ 図書館基本構想は、市民の読書活動を更に推進するとともに、市民が学びを通して自己実現することをサポートするために、あるべき図書館像、サービス、施設、運営管理のあり方等について、その方向性を示すことを目的として策定するものです。
- ・ 平成19年度策定の「第一次上田市図書館基本構想」(以下「第一次構想」という。)では、主に丸子図書館と真田図書館の施設整備に取り組みました。
- ・ 第一次構想策定から10年が経過し、上田市全体の図書館のあり方や役割分担、施設の整備、更には新しい時代の図書館運営まで含めて考えていく時期となっており、本市図書館運営の指針となる「第二次上田市図書館基本構想」(以下「第二次構想」という。)を策定しました。

○ 構想の位置づけ

第二次構想は、「上田市教育大綱」の理念を踏まえ、「第二次上田市総合計画」と「第二次上田市生涯学習基本構想」の個別計画として新たに策定するものです。

○ 計画の期間

平成29年度から平成37年度までの9年間

○ 構想の体系

「地域の身近な情報拠点として、くらしと学びに役立つ図書館」を基本理念とし、5つの「図書館づくりの基本目標」を掲げ、27項目の具体的施策を展開していきます。【裏面参照】

○ 今後の図書館のあり方

・ 図書館整備

上田図書館の整備については、文部科学省が示す「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づく市民への提供すべきサービスの実現と、また「上田市公共施設マネジメント基本方針」も踏まえ、施設との複合化なども視野に入れながら検討していきます。

・ 図書館運営形態

更なる市民協働の推進を図りながら、当面は直営により運営しますが、時代のニーズや図書館を取り巻く状況を勘案しながら、指定管理者制度、一部業務の委託なども含め、当市の図書館に適した運営形態を検討していきます。

・ 各図書館の機能の明確化、役割分担

効果的かつ効率的な図書館業務を展開し、市民サービスの向上に資するため、上田図書館を中央図書館とし、他の図書館を地域図書館とし、機能面での役割分担を行います。

・ 図書館職員

専門性の高い職員の育成に取り組みます。また、職員個々が積極的に新しい情報の収集に取り組み、自らの知識や能力の向上に努め、図書館サービスに活かせるよう取り組みます。

○ 構想の推進に当たって

- ・ 図書館行政のいっそうの推進を図るため、図書館サービス及び図書館の運営に関する事業計画を年度ごとに策定します。
- ・ 図書館サービス、運営状況について自ら適切に点検を行い、第二次構想の進捗状況について図書館協議会を活用した「関係者、第三者評価」を行い、効果的かつ着実に推進していきます。

第二次上田市図書館基本構想の体系図

第二次上田市総合計画

ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市

上田市教育大綱

燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり

第二次上田市生涯学習基本構想

学びを つぐむ まちづくり

第二次上田市図書館基本構想

○基本理念

地域の身近な情報拠点として、くらしと学びに役立つ図書館

○基本目標

① 生涯学習の支援施設である図書館

② 図書館の施設整備と機能強化

③ 地域資料及び貴重資料の収集、整理、保存及び情報提供ができる図書館

④ 協働による地域とつなごうとする図書館

⑤ 積極的なサービスを提供する図書館

○取組項目

- 1 課題解決のための情報提供
- 2 利用者ニーズの把握と活用
- 3 企画展示や講演会、講座等の開催
- 4 高齢者・障がい者サービスの充実
- 5 国際化に対応したサービスの提供
- 6 子ども読書活動推進計画の更なる推進
- 7 公共図書館と学校図書館との連携
- 8 図書館職員の資質向上

- 9 上田図書館以外の施設整備
- 10 上田図書館以外の施設整備
- 11 中央図書館機能の検討
- 12 地域図書館の役割の検討
- 13 各図書館のあり方の検討

- 14 視聴覚資料サービスの充実
- 15 地域・行政資料の積極的な収集、保存及び活用
- 16 貴重資料の収集、整理、保存及び活用
- 17 デジタルアーカイブの推進

- 18 市民協働の推進
- 19 高校、短大、大学、専門学校等との協働

- 20 図書館利用者の拡大
- 21 図書館利用者の拡大
- 22 関係機関等との連携と情報提供
- 23 積極的な情報発信
- 24 レファレンスの充実と利用促進
- 25 データベースの利用促進
- 26 全図書館のICTタグ化
- 27 電子サービスの調査及び研究